

& Seig

No.
62
Jun. 2024

特集

われら青春の 運動部

巻頭座談会

聖学院中高×女子聖学院中高
バスケットボール部顧問の
トークセッション

部活動ルポルタージュ

**聖学院中高
部活動への外部指導員
導入の取り組み**

輝き続ける! 運動部

各校・園

同窓会紹介

- 理事長メッセージ
- 新任教員の紹介

120周年特別企画

**聖学院発祥の地を
ついに特定!**





& Seig

ASF NEWS
ALL SEIGAKUIN FELLOWSHIP NEWS

No.
62
Jun. 2024

CONTENTS

巻頭特集

01_ われら青春の運動部

聖学院中高×女子聖学院中高
バスケットボール部顧問の
トークセッション

03_ &Talk

部活動ルポルタージュ

07_ 聖学院中高 部活動への外部指導員 導入の取り組み

08_ 輝き続ける！ 運動部

08_ 聖学院クラブ活動紹介

11_ OB活動レポート

12_ 卒業生が活躍した運動部

13_ 聖学院各校・園 同窓会紹介

15_ 理事長メッセージ

16_ 新任教員の紹介

17_ ASF事務局からのご報告

19_ 120周年特別企画

聖学院発祥の地をついに特定！

20_ Seig NEWS

35_ 聖学院歴史探訪

[EPISODE #25]

ASF NEWS No.62 アンケート

二次元コードから本誌の感想をお寄せください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で10名様に「聖学院オリジナル箸セット」をプレゼント！いただいたご意見は、編集の上、本誌にてご紹介させていただくことがあります。



●有効回答期間

2024年6月25日～2024年8月31日

●当選発表

当選者にはメールにてお知らせします。



本アンケートに関するお問い合わせ

聖学院広報センター Tel 03-3917-8530

特集

われら青春の 運動部

部活動は学校生活を豊かにしてくれる要素の一つです。

仲間と同じ時間を過ごし同じ目標を目指す。

そのため一生にわたって続く強い絆が生まれることもあります。

また部活動は在校生だけのものではありません。

卒業生にとっては人生を振り返り、かつての仲間と集える場所であり、

保護者にとっては我が子が所属する応援すべき団体です。

教職員にとっては顧問やコーチとして、教室の外で生徒の成長に出会える場でもあります。

在校生から卒業生、保護者、教職員までみんなが集い、胸を熱くする部活動。

今回は聖学院各校の部活動の中から運動部を特集します。

SPORTS



&Talk

特集

われら青春の運動部

10代の生活の多くを費やした部活動。
悔しかった思い出もうれしかった思い出も
部活動があったからこそ。
2人の顧問の目を通して、
現在進行形の部活動にぜひ触れてみてください。





たけい たかし
武井 貴

聖学院中学校・高等学校保健体育科教諭。(公財)日本バスケットボール協会公認C級コーチ、B級審判員、2級審判インストラクター
横浜国立大学教育学部小学校教員養成課程体育専攻卒業、同学大学院教育学研究科修了、教育学修士。



かとう ゆずこ
加藤 柚子

女子聖学院中学校・高等学校保健体育科教諭。女子聖学院中高卒業、日本体育大学スポーツ文化学部スポーツ国際学科卒業。
女子聖学院在学中はバスケットボール部に所属しキャプテンを担う。現在中高バスケットボール部顧問。

聖学院中高のバスケットボール部（以下バスケ部）は一人の教員が27年間、顧問を続けています。プレーヤーとしても大学までバスケットボールを続けていた武井貴先生です。女子聖学院中高のバスケ部は、母校に教員として戻ってきた卒業生が顧問を務めています。数年前まで同部のキャプテンだった加藤柚子先生です。歴史ある聖学院だからこそ見えてくる今と昔、新型コロナウイルスの影響、変わらないもの。そして歴史を紡いできた卒業生との関わりと今後についてお二人にうかがいました。

かつて一時代を築いた男子・女子バスケ部

—部活動について教えてください。

武井 活動は週4日で、個人のスキルとチームのスキルに分けて練習しています。個人の練習はシュートやドリブルなどの基礎練習です。チームの練習は1対1から5対5までの対戦形式で行い、ゲームの中でどう動くかという決まり事の確認なども行います。水曜日は教職員の会議があり、私が立ち会えないので、学外のトレーナーに来てもらっています。その日がスキルアップの練習の日になります。部員数は中高合わせて46名います。最近の実績でいうと高校は都大会2回戦まで進み、中学は初戦敗退でした。高校は16点リードしていたのですが、最後の5分で逆

転されてしまいました。

心掛けとしては、生徒として「きちんと」していることを重視しています。身だしなみや生活態度が部活動の成績にもつながってくると思っています。

加藤 男子は部員、多いですね。女子聖学院中高は高校が11名で中学が13名です。こちらも週4日の活動になります。今までの戦績としては中学で都大会出場の経験があります。練習内容は、個人とチームのスキルアップが中心です。攻め方（オフエンス）が分からないという生徒が多いので、フォーメーションごとの動きなど具体的なチームプレーも練習しています。

部活動は参加が任意なので楽しんでやってもらいたいと思っています。

「勝つこと」、「技術の向上」、「シュートを決める」、何を楽しいと思うかは人それぞれです。ただ高校生が試合で頑張りたいと言っている中で、今はそこに合わせて活動しています。試合に勝つためにはまず練習に参加しよう、走って集合しよう、返事をしよう、そういう基礎的なところから徹底し始めています。

武井 部の創設に関する正確な時期は不明です。ただ少なくとも1920年代には存在した記録があります。聖学院中高は元々アメリカンフットボール部とかバドミントン部が全国制覇をしている学校で、アメリカンフットボール部を創った先生がバスケ部も創った

ようです。当時は結構強かったという話があります。

加藤 女子聖学院中高バスケ部も、創設の詳しい情報は出てきませんでした。ただ30年くらい前が一番強かったと聞いています。東京都で1位になっ

両顧問のプレーヤーキャリアと運動部における中高一貫校の意義

—顧問に就任した経緯を教えてください。

武井 私が教員に採用されたときの募集条件が「バスケ部の指導ができる者」でした。中学から大学までプレーヤーとしてバスケットボールをしていて、大学院ではアシスタントコーチをしていたので、その経験を生かせると思い応募しました。そのため1997年の赴任と同時に顧問になり、それからずっと私が指導しています。最初の頃は自分がやってきたことを生かして指導をしていました。しかし、それではいざ自分体が動かなくなったら時に支障が出ると思い、日本バスケットボール協会のコーチライセンスを取得しました。その過程で強豪校の先生や大学の先生の講義を受け、そこから経験則だけではない指導法に変わりました。

加藤 私の場合は、昨年末でバスケ部を見てくださったという非常勤の先生が辞められたタイミングで顧問になり、



女子聖学院中高バスケット部。日頃の練習の成果を試合で出せるよう気合いを入れます。



指導方法について質問する加藤先生と、丁寧にアドバイスを武井先生。部活動を通して学校間の交流が自然と生まれました。

併せて指導もすることになりました。高校現役の時に、当時のコーチから勧められて取った指導者のE級のライセンスはあるものの、実際の指導経験はないに等しいので試行錯誤しながらやっています。ですので指導法については武井先生にお話を聞きたいと思っていたところです。

—プレーヤーの時のポジションはどこでしたか？

加藤 私はセンター（※1）でした。ですのでドリブルはあまり得意ではないです。

武井 同じくセンターです。

加藤 シュートを打つ数が一番多いので得点源になりますし、私はセンターというポジションをちょっと誇らしく思っています。

武井 個人の得点記録は1試合最大何点ですか？

加藤 50点です。

武井 素晴らしい。私は48点です（笑）。

加藤 中学2年生の時、高校生の試合（6年一貫校は中学生も出場可）に出させてもらったことがあります。全員大先輩で敵も味方も高校生の中、プレッシャーを感じつつコートに立ちました。その緊張が良い方向に働き、いつも以上のプレーができました。先輩と一緒に試合ができたことも、高校生と張り合えたこともうれしかったです。

武井 中学生が高校生と一緒にプレーすることで力が引き出されることがあると思います。それが中高一貫校の良いところでもありますね。

生徒を第一に考えた指導法が生徒の主体性を育んでいます

—今と昔の部活動を比べてどのようなところに変化を感じますか？

武井 かつては顧問やコーチが決めた方針や練習方法を、生徒がこなしていく活動が一般的だったと思います。私もプレーヤー時代はそういう指導を受けてきました。しかし現在では全国的にそういう傾向は減りつつあると思います。加えてコロナ禍以降は「ブレイクスファースト」（※2）という考え方が浸透し始めています。私もやはり、生徒にとって何が良いのかを考えた指導をしなければいけないと思います。では今の生徒は部活動に何を求めているのか、実際に話を聞くと「試合に勝ちたい」「上手になりたい」という意見が多く、そこはいつの時代も変わらないんだなと思いました。また、昔は熱心じゃない生徒も一定数いたのですが、今はどんな生徒もちゃんと練習に参加して、一生懸命練習しています。その点においては時代が変わったと感じます。

加藤 就任して感じたのは、声を出すのが苦手という生徒が多いということです。よく考えればついこの前までコ

ロナ禍で声を出さずと言われていた世代なので、急に声を出せと言われても難しいのかなと思いました。部活動に取り組む姿勢自体は、男子同様一生懸命で、試合前に行く実戦形式の練習では、それぞれが自分の課題を見つけようとしています。主体的に課題発見をし、向上しようという姿勢があります。



武井 今、練習の内容や部内のことは全部キャプテンや上級生を中心に生徒たちが自分たちで決めていきます。私がいなくなっても継続する、持続可能な部活動を目指して10年前からこのやり方を始めました。今では試合のメンバーも彼らが決めていきます。自主的に考えて自分たちで答えを出せるようになってきたので、やって良かったと思っています。ただ全てがうまくいくとは限りません。どうしても練習がマンネリ化することもあるので、外部トレーナーの意見を聞いたり、私からアドバイスをしたりしています。

全ての生徒に成長があり、その成長を見られるのが顧問のやりがい

—部活動としてのバスケットボールの魅力はなんですか？

武井 指導者としては生徒の成長が感じられるところです。特に男子は「化ける」と言われていて、それまでできなかったことがある日突然できるようなことになることがあります。例えば3ポイントシュートが全然届かなかったり的外れだった生徒が綺麗な放物線を描いて決めるようになることがあります。

加藤 生徒の成長はやはりうれしいですね。自分の実力以上のことができても当然の本人は気づいていないことがあります。そのため「今のプレーとても良かったよ」と声をかけて、生徒が「こういうふうによれば良いのか」と成功体験に落とし込めるよう意識しています。それがその生徒の得意なプレーになったり、チームプレーの向上につながったりします。

武井 中学1年生の頃、遅刻が多くて勉強もやる気がなかった生徒が、中学2年生からバスケット部に突然入ってきたことがあります。最初は鳴かず飛ばすだった彼が何かのきっかけでスイッチが入り、最終的にはキャプテンになりました。さらに部活での変化が生活や学習面にも波及して、彼は勉強もしっかりするようになり、希望する大学に進学しました。生徒の成長には本当に驚かされます。

—レギュラー以外の部員のモチベーションはどのようにケアしていますか？

武井 実戦形式の練習では全員均等にプレーするようにしています。ただそ

の分、一人ひとりのプレー時間は短くなるので、実際の試合で主力選手を長時間使うと、高校生の都大会残り5分で逆転負けしたように、コンディションを維持できないという問題があります。そこは課題だと感じています。



加藤 私は部活動に参加している部員の中から実力順で試合に出しているのですが、スタメンに選ばれなかった生徒は悔しい思いをします。でもその気持ちが大事だと思っています。そのことを伝えつつ、次の大会までに試合に出られるようになるにはどうしたら良いかを一緒に話し合い、本人にも考えさせるようにしています。そういう生徒ほど伸びますし、次の大会ではスタメンに入れることがよくあります。その結果、新たにスタメンから外れる生徒が出ます。その生徒にも同じく「悔しいなら頑張つて練習しなさい」と声をかけます。お互いが高め合える関係を大切にしています。

卒業生との交流と 駒込3校の今後の展望

—卒業生と現役の部員、あるいは卒業生同士が交流する機会はありますか？

武井 卒業生同士が連絡を取り合っ

たバスケットをしたり食事に行ったりしているという話をよく聞きます。

加藤 私も現役の時の部員仲間と今でもよく会っています。在学中一番頑張っていたのが部活動なので、その話で盛り上がりやすい。

武井 毎年記念祭の時に、現役チーム対OBチームで試合をします。それが高校3年生の引退試合になっていきます。昨年はOBチームが勝ちました。

—駒込各校での交流も持てそうですね。

武井 コロナ禍の影響などで中断してありますが、男子と女子は以前は練習ゲームをしたり、お互いの体育館を貸し借りしたりしていたので、また交流を持ちたいですね。

加藤 良いですね。誰かが見ている中で練習するのは、実際の試合の緊張感に近いので良い機会だと思います。

武井 聖学院小学校にミニバスを教えに行くことなども、できたら面白いかな

などと思います。小学生がそれを機会に、サッカーでも野球でも何か運動に興味を持ってくれればうれしいです。
(取材日/2024年5月)

※1 センターは最もゴールに近い位置でプレーするポジションです。主にインサイドシュートを狙ったり、インサイドに相手を引きつけてアウトサイドにバスを出したり、リバウンドを取ったりといった役割を担います。
【出典】WONDER SCHOOL <https://wonder.eric/article/680/description/#mdash1>
※2 勝利至上ではなく、選手を第一に考えようという理念。



聖学院中高バスケット部。相手チームを研究して試合に臨むことも。

聖学院中学校・高等学校

バスケットボール部

- 部員数=46人(中学2年~高校3年)
- 顧問=武井貴、玉木聖一、波部祥樹
- 練習日=月・水・木・土(週4日)



女子聖学院中学校・高等学校

バスケットボール部

- 部員数=24人(中学2年~高校3年)
- 顧問=加藤柚子、渡口雅之、小宮祐介
- 練習日=火・木・金・土(週4日)



部活動ルポルタージュ

聖学院中学校・高等学校

部活動への外部指導員 導入の取り組み

部活動の課題

- 多忙な教員が、生徒の安全を保證できるとは限らない
 - 教員の事情により、その日の活動が中止になることもある
 - 教員は、スポーツの指導者として適任とは限らない
 - 外部の有志の指導者に任せられた場合、継続性が保證されない
- ↓
- 生徒の満足度が優先されていない

教員の働き方改革をテーマにしたとき、部活動改革は主なトピックの一つとなりますが、聖学院中高の部活動改善の取り組みは「生徒の満足度」を何よりも大切にしています。

授業準備や担任業務の他、事務作業も増え、教員が毎日多忙な中で部活動中の生徒の安全を保證できるのかという問題があります。また、顧問教員が担任するクラスでトラブルが発生すればその日の部活動を中止とせざるを得ない場合もあります。部活動を楽しみにしている生徒にとって、これは望ましい状況ではなく、教員の課題を解決することが生徒の満足度と無関係とは言えないでしょう。

聖学院中高では2020年度より、部活動に外部から指導員の派遣を受ける取り組みがはじまっています。リーフラス株式会社と提携して、現在は、中高卓球部、中学野球部、高校野球部、中学サッカー部、高校サッカー部の5つの部で外部指導員が指導を行なっています。指導員を導入するにあたり次の2つのことが決められました。1つめは、顧問教員は技術指導を一切行わず、指導員に任せるといことです。これは、教員と指導員とが矛盾する指導をして生徒を感わせないようにするためです。2つめは、学校の負担だけで費用を賄うのではなく、保護者からも指導費を徴収するということです。

先述した通り、最優先しているのは生徒の満足度です。試合で「勝ちたい」と思っている生徒たちに「勝てるためのサポート」をすることが指導員の仕事であり、「勝たせること」ではありません。「勝つこと」は生徒たちの満足度を上げる要因の一

つではありませんが、勝てるならばなんでも良いということではないのです。これは間違わないように徹底されています。

このようにコンセプトをしっかり持つた上で取り組みは行なわれていますが、すべてが順調であるとは言えません。しかしこれは、チャレンジする価値のある取り組みです。丁寧に課題の対処をしながら、生徒の満足度調査を定期的に行い、活動の質の向上が目指されています。全国的にも注目されており、他校から多くの視察の要望があります。また経済産業省の研究会でも取り上げられました。

外部委託先

派遣の指導員がスポットではなく、各クラブのマネジメントの責任を負う。欠員時の代行/予定の把握/支払い取りまとめ/派遣後のケアのための巡回サポートなど

聖学院中学校・高等学校

適正な対価の支払い。
妥協なき採用活動、研修の依頼/採用方針は各々のクラブによるが、自主性を重んじたクラブ運営

- | | | |
|------------|---|---------|
| 卓球教室の主催者 | → | 中高卓球部 |
| 元高校球児 | → | 中学野球部 |
| 元高校球児 | → | 高校野球部 |
| 元高校サッカーコーチ | → | 中学サッカー部 |
| 元Jリーガー | → | 高校サッカー部 |





聖学院
クラブ活動紹介

輝き続ける！

運動部

陸上競技部

聖学院大学



関東インカレの詳細な結果は、聖学院大学のウェブでご紹介しています。二次元コードからアクセスください。



●吉田 幸二 監督

聖学院の陸上競技部には本当に陸上を好きな学生たちが集まってくれているといつも思っていました。結果が出ず、練習が辛い日もあるでしょう。“Make a Little Effort Each Day”毎日の努力の積み重ねが良い結果を運んでくれます。何事にもたゆまぬ努力を続け、悔いのない生き方をしてほしいと願っています。



●山崎 真良 コーチ

本学陸上競技部には数々の素晴らしい実績が残されています。私は短距離を指導しておりますが、卒業生たちが築き上げてきた歴史を絶やさぬよう、日々の練習メニューについて、選手とディスカッションしながら、少しでもタイムが短縮できるように選手たちの努力を応援しています。

聖学院大学陸上競技部は、1999年の発足以来、監督とコーチ陣の熱心な指導のもと、日本選手権出場者や関東選手権での優勝選手、関東インカレ優勝・準優勝者、日本インカレ準優勝者、関東学生新人優勝者・MVP、オリンピック強化指定選手認定者、アジア陸上選手権入賞者、日本選手権入賞者、各国体出場者、埼玉県選手権優勝・準優勝者、関東学生新人優勝者など、様々な公式大会での優勝や準優勝、上位入賞となる数多くの優秀な選手を輩出してきています。聖大陸上部の大きな魅力は、他の大規模校と比べてその部員が少数精鋭であることに加えて、少数だからこそ代表選手として大会に出場しやすいことにもあります。その大会出場への明確な目標があるからこそ、顧問・監督・コーチ陣の日々の支えのもと、部員たちはモチベーションを高く持つことができ、最後まで諦めない強い精神と忍耐力が形作られ、日々の練習や学業

陸上部の概要

- 部員数=22人
- 発足年=同好会1999年・部2000年
- 顧問=島村 宣生
- 監督=吉田 幸二
- コーチ=山崎 真良
- 練習日=月・火・水・金・土

- 最近の実績
- 第103回関東インカレ男子2部校200m5位入賞
- 第103回関東インカレ男子2部校400m5位入賞

にも打ち込むことができます。部員たちも、監督・コーチへの信頼と、その指導に応えるように熱心に、そして楽しく和気あいあい日々のメニューをこなし、自身にまだ足りなく必要な部分を自ら考えつつ、部員同士でも反省や目標を共有して切磋琢磨しながら、自主練習や試合などに臨んでいます。





同好会の公式Instagramは左の二次元コードからアクセスください。

聖学院大学 ディスクゴルフ同好会

ディスクゴルフはフライングディスク(frisbee)を使用するゴルフに似た競技で、誰でも楽しみながら参加ができます。大学の課外活動団体として日本ではまだ数少なく、聖学院大学はバイオニア的な存在でその活動は企業から一部協賛も得ています。

- 部員数=20人 ●発足年=2022年
- 顧問=Robert Rowland
- 練習日=火・木
- ※顧問のローランド先生(欧米文化学科准教授・国際交流センター長)は埼玉県ディスクゴルフ協会の初代会長で日本ディスクゴルフ協会の渉外担当です

[練習内容] 投げ練習、試合形式練習、学内外イベント(特別講義・体験会など)

●最近の実績

学内外大会の企画参加(聖学院創立120周年記念ディスクゴルフ大会など)、月1回の国営武蔵丘陵森林公園でのイベント・大会参加など



部の公式Instagramは左の二次元コードからアクセスください。

聖学院大学 バドミントン部

ノック練習やパターン練習を中心に、リーグ戦5部昇格を目指し、楽しみながらも真剣に活動しています。大学でバドミントンを始めた部員が多いのも特徴です。また、部としてジュベナリス祭やヴェリタス祭といった様々な学内イベントにも参加しており、大学生生活も充実しています!

- 部員数=13人
- 発足年=2002年
- 顧問=松永 直人
- 練習日=火・金・土

※顧問の松永先生(基礎総合教育部 准教授・学生生活部長)は関東学生バドミントン連盟役員です

●最近の実績

2023年 関東大学バドミントン秋季リーグ6部2位
2024年 関東大学バドミントン春季リーグ6部3位



女子聖学院中学校・高等学校 チアリーダー部

いつも笑顔で楽しく全力の演技をしています。皆さんに元気を届けられるように精一杯がんばっています。チームの合言葉は「VIGORS WORLD全開!~全開正解~魅せきます!」。

- 部員数=中学:26人/高校:17人
- 発足年=1987年
- 顧問=松ノ井 覚・岩城 詠歌・日下 清美・山崎 菜穂子
- コーチ=池口春加・公文雅子 他
- 練習日=月・火・木・金・土

●最近の実績

JOCジュニアオリンピックカップ大会 第33回全日本高等学校チアリーダー選手権大会 決勝進出
第25回関東チアリーダー選手権大会 中学校の部 JAPAN CUP出場権獲得
第25回関東チアリーダー選手権大会 高等学校の部 JAPAN CUP出場権獲得
JOCジュニアオリンピックカップ大会 第34回全日本高等学校チアリーダー選手権大会 決勝進出



聖学院中学校・高等学校 剣道部

自分に克つことを目標に日々の活動を行っています。中学から剣道を始める初心者の部員が大半です。楽しく稽古しながら、人間的な成長を目指しています。

- 部員数=中学:9人/高校:10人
- 顧問=泉 典亮・島立 光人・浅野 大将
- 練習日=月・火・木・金・土

[練習内容] 素振り、足捌き、日本剣道形、基本打ち、応じ技、掛り稽古、地稽古、試合稽古

●最近の実績

2022年 全国高等学校剣道大会 東京都予選会(団体ベスト32)
2023年 北区大会個人戦2位
2023年 東京都中学校総合体育大会出場
2023年 第一支部学年別個人戦準優勝
2023年 東京都高等学校新人剣道大会出場

聖学院高等学校

硬式野球部

『いつも喜び、全てに感謝』をモットーに一戦必勝を目指します。当たり前に野球ができるという感謝を忘れず、戦っていきます。

●最近の実績

2022年夏 2018年夏以来の聖学院単独チームでの公式戦出場
2024年 3学年で部員が20名を超える



- 部員数=24人
- 発足年=1960年(軟式野球部より移行)
- 顧問=佐藤龍彦・早川太脩
- 練習日=月・火・金・土・日
(※日曜は不定期)

聖学院中学校・高等学校

バドミントン部

新入部員は初心者ばかりです。練習を継続すれば必ず上達します。

●最近の実績

2023年 北区秋季大会団体戦2位
北区秋季大会個人戦ダブルス3位
北区冬季大会個人戦シングルス2位・3位 東京都冬季東ブロック大会団体戦II部予選リーグ1位
2024年 城北オープン大会団体戦ベスト8 他多数あり



- 部員数=中学:19人/高校:16人
- 発足年=1949年
- 顧問=福地修二・伊藤大輔・福井純平
- 練習日=月・火・水・金・土

女子聖学院中学校・高等学校

ダンス部

活動は中高合同で、ヒップホップからスローなダンスまで様々なジャンルのダンスを取り入れています。記念祭など学内での発表が中心ですが、学外の大会にチャレンジすることもあります。

●最近の実績

第14回 日本高校ダンス部選手権新人戦 東日本大会(スモールクラス出場)「ベストビジュアル賞」受賞



- 部員数=中学:27人/高校:16人
- 顧問=経塚 宏・唐鎌 美月・加納 恵美
- コーチ=小泉 千春
- 練習日=月・火・金

聖学院中学校

軟式野球部

経験者、初心者問わず野球を楽しむことをモットーに日々技術向上に励んでいます。

●最近の実績

2022年 第94回志茂大会敢闘賞
2023年 北区夏季予選大会優勝
第95・96回志茂大会敢闘賞
2024年 北区夏季選手権大会準決勝進出(6/10現在)



- 部員数=40人
- 顧問=吉原典之・高橋優一
- コーチ=齊藤大樹
- 練習日=水・木・金・土・日
(※日曜は不定期)

女子聖学院中学校・高等学校

バドミントン部

バドミントン用に設計された体育館で、勝つ為はもちろん楽しむ事も大切に、心強い仲間と熱心なコーチと共に練習しています。

●最近の実績

北区中大会バドミントン冬季シングルス大会(個人戦) 出場
東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会都予選大会(個人・団体) 出場



- 部員数=中学:9人/高校:11人
- 顧問=高橋 幸久・遠藤 茉莉子
- コーチ=前川 正
- 練習日=月・火・金・土

聖学院小学校

剣道クラブ

武道として礼儀や礼節をしっかりと意識することで、他者のことを尊重する精神を育てることを目標としています。初心者から経験者までが在籍しており、部員同士で教え合いながら自主的に学び責任感を持って活動しています。

●最近の実績

三校交流試合(立教小学校、東京女学館小学校)



- 部員数=17人
- 顧問=清水 翔太・(佐藤 慎)
- 練習日=月に1~2回 金曜日

聖学院各校の運動部は 他にもたくさんあります

今回のASF NEWSの運動部特集では、誌面の都合により、聖学院各校すべての運動部をご紹介することができませんでした。掲載できなかった運動部につきましては、たいへん申し訳なく思っています。今後も、ASF NEWSやnote等で機会を作って、文化部特集や運動部特集の第2弾を計画したいと考えています。聖学院各校運動部の情報につきましては各校の学校案内やホームページもご覧ください。

これからも引き続き、聖学院各校の生徒、学生たちの応援をどうぞよろしく願っています。

聖学院小学校

ラグビークラブ

「ひとりはおんなのためにみんなはひとりのために」をモットーに、児童が楽しみ、喜んでプレーできることを大切にしています。

●最近の実績

聖学院中高ラグビー部とのタグラグビー交流会
成蹊小学校ラグビー交流会(5月)
私学体育発表会(11月)成蹊小学校・青山学院初等部 他多数あり



- 部員数=21人
- 発足年=1985年
- 顧問=濱住 聖史・小野寺 和人
- 練習日=月に1~2回 金曜日

OB活動レポート 聖学院高等学校

アメリカンフットボール部「HUSKIES」

創部75年!!伝統あるアメフト部の復活を願って
聖学院アフタースクールでフラッグフットボールの練習実施

聖学院高校アメフト部は1948年創部、76年の歴史を有する運動部です。現在は現役の部員が在籍しないため休部となっていますが、アメフト部OBの皆さんは、部活動の再開を願って、定期的にOB会を開催しています。

また、月一回の木曜日には、聖学院小学校アフタースクールのプログラムとして、希望する児童へのフラッグフットボールの指導を行っています。昨年11月に開催された『フラッグフットボールフェスティバル』の様子を、卒業生を定期的に紹介するnote「The story of Seigakuin」にて紹介していますので、どうぞご覧ください。



note「The story of Seigakuin」はこちらの二次元コードからアクセスください。



OB活動レポート 聖学院高等学校

サッカー部 現役 vs OB交流戦

サッカーへの熱い思いは今も変わらず
交流戦へOB40名が大集合!!

今年2月に浦和のレッズランドで、コロナ禍以来久しぶりとなる現役サッカー部対OBの交流戦が開催されました。当日は、2月とはいえ、暖かく風のない絶好のサッカー日和で、なんと40名以上のOBの皆さんが集まりました。

OBの皆さんのテクニカルで熱意あふれる素晴らしいプレーが随所に見られたものの、最後は現役サッカー部員の体力勝ちという結果となりました。

サッカー部への応援として、OBの皆さんからサッカーボール10個がプレゼントされました。



すべての子どもに、
「教育の機会」を

#030

伊沢 早織さん

聖学院小学校
女子聖学院中学校・高等学校 卒業
テニス部

国と地域
子どもの権利と
にある子どもた
います



思い入れと意気込みが違う、
女子聖学院の運動会!

#058

遠藤 茉莉子先生

聖学院幼稚園
聖学院小学校
女子聖学院中学校・高等学校 卒業
バドミントン部



人と人の
つながりを真ん中に

#031

木村 祐基さん

聖学院小学校
聖学院大学 政治経済学科
コミュニティ政策学科 卒業
野球クラブ



聖学院クラブ活動紹介

輝き続ける!

運動部



生徒3年+教員43年、
個性を伸ばす教育と野球部監督

#060

磯貝 創一先生

聖学院高等学校 卒業
野球部

卒業生が活躍した運動部

聖学院広報センター公式note
「The story of Seigakuin」でご紹介している
卒業生の皆さんも在学中は部活動で大活躍しました。
詳しくは記事をご覧ください。



noteは左の二次元コードもしくは
以下のURLからアクセスください。
<https://note.seig.ac.jp/m/234a0dd3901d>

卒業から53年
今も女子聖が大好きです

#025

田中 与さん
菅谷 千恵子さん

女子聖学院中学校・高等学校 卒業
テニス部



関わる人に
ポジティブを届けること、
それが私のミッションです!

#028

小倉 心愛さん

女子聖学院中学校・高等学校 卒業
バスケットボール部 マネージャー

僕は世界の
ヒーローになる

#049

山口 雄輝さん

聖学院中学校・高等学校 卒業
サッカー部



日本という国の
ルーツが感じられる服作り

#036

緒方 義志さん

聖学院中学校・高等学校 卒業
サッカー部



同窓会紹介

聖学院各校・園の
同窓会活動についてご紹介します。



聖学院小学校

聖学院小学校同窓会 「ぶどうの木」

設立 1991年
代表者 勝倉 雄二
<https://primary.seigakuin.ed.jp/category/graduate-news/>

●2023年度の主な活動報告

- ・4月8日 代議員会開催
- ・6月10日 ぶどうの木総会開催
- ・9月23日 聖学院フェアへの参加

●2024年度の主な活動予定

2024年度も昨年に引き続き、代議員会開催、総会開催、聖学院フェアへの参加を予定しています。加えて、会員の皆様とのコミュニケーション手段のスピードアップと多様化を目的として、ぶどうの木の公式LINEページを立ち上げました。まだ、登録していただいている会員は300名程度ではありますが、積極的に活用して情報を提供していきたいと考えております。

●卒業生へのメッセージ

聖学院フェアの同窓会コーナーでのお手伝いなど、ぶどうの木の活動にご参加いただける方を広く求めています。詳細は、ホームページ、公式LINEでご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



女子聖学院中学校・高等学校

女子聖学院中学校・ 高等学校「翠耀会」

設立 1918年
代表者 大塚 明子
<https://www.joshiseigakuin.ed.jp/suiyoukai/>

●2023年度の主な活動報告

2023年度は総会も開かれ、記念祭にも食堂とミニバザーで参加、新入会員歓迎会と代表委員会も実施することができ、コロナ禍前にほぼ戻って活動できました。事業部の食堂は、新たなメンバーも加わって順調に活動しています。また、学校主催のホームカミングはコロナ禍で延期になっていた3学年を加えて、6月と9月に2学年ずつ実施されました。

●2024年度の活動予定と

卒業生へのメッセージ

2024年5月発行の同窓会誌「翠耀」は、ホームカミング報告が4学年になったこともあり、12ページに増やして発行できました。会員情報の変更手続きが手軽にできるよう、従来の電話、ハガキ、FAXという方法に加えて、メールでの連絡が可能になりました。今年度も6月の総会、11月の記念祭、12月の「卒業生と祝うクリスマス」などで皆様とお会いできるのを楽しみにいたしております。



聖学院中学校・高等学校

聖学院中学校・ 高等学校同窓会

設立 1926年
代表者 三枝 正和
<https://seig-boys.net/>

●2023年度の主な活動報告

- ・親睦ゴルフ会の開催—2023年9月29日及び2024年3月19日
- ・ホームカミングデーの開催—2023年11月3日(母校記念祭にて)
- ・「稲永 修さんを偲ぶ会」を聖学院中高・学校法人聖学院と協賛で開催—2024年3月20日(上野・精養軒)

●2024年度の活動予定

- ・同窓会だより 第69号を5月下旬に発行
- ・総会及び懇親会—6月22日(会場:北とびあ[QUAD17])
- ・今年度から「聖学院同窓会 公式LINE」の運用を開始しました。

●卒業生へのメッセージ

お誘い合わせのうえ「公式LINE」へ登録ください。2年後の母校120周年並びに同窓会設立100周年に関して、皆さんの想いをHPへ投稿ください。

聖学院同窓会 公式LINE
始めました!

同窓会に関するイベント・お知らせ情報をお届けします!

スマホでLINEアプリを起動し、LINEアプリの「友達検索」欄から「公式LINE」または「@seigboys」から検索も可能です!

QRコードで検索 | 検索キーワード: @seigboys

聖学院同窓会 公式LINEの特徴

- かんたん!お気兼ねな連絡**
連絡がとれなくなったときもいつでもLINEでメッセージが送れます!
*画像・動画・音声も送れます!
*グループチャットも活用いただけます!
- いつでも最新情報でできる**
最新情報にいち早くお知らせする同窓会専用チャットグループが好評です。*無料です。
同窓会イベント開催もお知らせ!
- クラウドで会費や母校支援ができる**
LINEからのクレジットカードを利用してお金を出しやすくなります!
*コンビニも利用可!



※住所変更等の連絡は、各校・園の同窓会、事務局、
またはASF事務局までお知らせください。
ASF事務局：03-3917-8530（月～金 9:00～17:30）
pr_h@seigakuin-univ.ac.jp



聖学院広報センターnote公式アカウントで、
卒業生の紹介記事を配信しています。
ぜひご覧ください。



聖学院みどり幼稚園

聖学院みどり幼稚園 同窓会

設立 2007年
代表者 小山 浩史
<https://midori.seigakuin.ed.jp/>

●2023年度の主な活動報告

- ・コロナ禍での活動制限から解放され、例年通りの活動が行えるようになりました。
- ・同窓会—7月の海の日に毎年開催しています。これまでは主にはがきによる告知と参加受付でしたが、ホームページでの受付フォームや電子メール等の手段に加え、中高大の各学校の卒業年齢にあたる年齢の同窓生には郵送による連絡を併用しました。はがき作成に関わる労力と費用の削減の他に、在園時の担任の先生との再会ができるなど予想外の効果もありました。
- ・バザー—あらためフェスタへの出展—例年10月中旬に開催していた幼稚園バザーが、2023年度より大学のヴェリタス祭と同日開催に変更されました。今回は在園・卒園の保護者の方々にも企画段階から多く参画いただき、例年以上の規模での出展となりました。

●2024年度の活動予定 卒園生へのメッセージ

主な活動は下記になります。

- ・同窓会（7月15日）
- ・フェスタ（11月2日）

同窓生のみなさまのご参加をお待ちしております。



聖学院大学

聖学院大学 同窓会

設立 1993年
代表者 島田 大輔
<https://www.seig-dousou.com/>

●2023年度の主な活動報告

- ・10月に同窓会設立30周年記念パーティーを行い、大勢の卒業生や教職員の方にご参加いただき盛況のうちに終了しました。
- ・会報誌の発行—同窓会会報誌「CROSS POINT Vol. 33」を10月に発行し、同窓生へ送付しました。
- ・ヴェリタス祭への参加—ヴェリタス祭で、ホームカミングの場として毎年行っているカフェを今年も実施しました。
- ・ボランティア、まちづくり活動助成事業へ審査員として参加—学内の学生ボランティア団体の活動助成を同窓会が支援しており、その公開審査会へ審査員として参加しました。

●2024年度の活動予定

- ・ボランティア・まちづくり活動助成事業への支援—学内の学生ボランティア団体に同窓会が活動助成を支援しており、活動助成の公開審査会に審査員として参加します。
- ・11月に行われるヴェリタス祭においてホームカミングの実施を予定しております。
- ・同窓会会報誌「CROSS POINT Vol. 34」の発行を計画しています。

●卒業生へのメッセージ

同窓会では一緒に活動していただける役員を募集しています。活動にご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームよりご連絡いただけますでしょうか。



聖学院幼稚園

聖学院幼稚園 同窓会

設立 1972年
代表者 本橋 喜久子
<https://kinder.seigakuin.ed.jp/>

●2023年度の主な活動報告

20歳になった卒園生（2009年度卒）のホームカミングを、今年も3月20日（水・祝）に開催しました。卒園生・保護者・先生方が再会を喜び合いました。近況報告をして保護者の方も当時を思い出して楽しかったことや懐かしい思い出をお話しくださり、涙する場面も…当時は旧園舎でしたが、今の園舎内で残っている懐かしいものを探したり当時のアルバムを見たり、今も変わらない幼稚園の雰囲気を感じてもらいました。卒園生の皆さんが成長されて元気に！それぞれの道を歩んでいることを知り、先生たちもうれしきで満たされる時間となりました。

●2024年度の活動予定

20歳になった卒園生（2010年度卒）を迎えるホームカミングを2025年3月20日（木・祝）に開催予定です。2025年1月中にお知らせのハガキを卒園時の住所へお送りします。

●卒園生へのメッセージ

皆さん、お元気にお過ごしですか？ 聖学院幼稚園では今日も皆さんの後輩たちが、お庭の汽車ポッポやホールのロディで遊んでいますよ。駒込の近くにいらした際はぜひお寄りくださいね。突然でも大歓迎です！「おかえりなさい」とお迎えしたいです。





理事長メッセージ

次なる時代を見据えて

学校法人聖学院 理事長

小池 茂子

**現状に目を向け、
目標への道のりを明確にする**

聖学院は、法人および各校・各園が5カ年の中期ビジョンを掲げ、それに向かつて取り組みを行っています。昨年度より第2期聖学院ビジョンが始まり「教育研究質向上」「施設設備整備」「財政戦略」「人材・運営体制」「広報戦略・情報公開」の5つの領域においてアクションプランを立て、目標の達成を目指しています。第2期においては、私たちの取り組みを定量的に評価していくことを重視しています。各アクションプランの達成度を数値で示し、達成できなかった事柄についてはその理由を明確にすることで、理事会の経営判断の参考にするともに、各校各園の教職員が自分たちの課題と目標を共有することを目指しています。

5つの領域のなかでも、やはり教育が一番重要です。そしてそれを支えているのが財政です。財政の安定化を図らなければよい教育はできません。少子化の進展する中、入学者の獲得というところが大きな課題となっています。その意味でも、よい教育とその広報を今まで以上に各校・各園が注力する必要があります。加えて法人全体としても広報を通じて、各校の教育力とその成果を社会や地域、ステークホルダーの皆様に届けていくことが重要であると考えています。

また、これからの時代は将来構想を

しっかりと展望し、そこに見合ったシステムを早期に構築していくことが肝心です。学校の姿や入学定員においても適正規模を見据え、このような改革の中で財政を安定化していきたいと思っています。

特色ある教育活動

駒込キャンパスでは、教育デザイン開発センターのもと、女子聖学院中高と聖学院中高の生徒合同SDGsプロジェクトを進めています。2023年度は「環境エコ」をテーマに取り組み、3月に聖学院小学校児童を対象に「聖学院SDGsデー」ワークショップを開催、石けんづくりや生ごみからコンポストで作った土を使ったプランターづくりなどを中高生が企画して実施しました。また、各家庭から提供された食品を地域の食に困っている方たちに届ける活動なども行っています。生徒たちは自分でテーマを見つけて学びを深め、社会課題の解決につながる企画を考え実践しています。

聖学院みどり幼稚園でも、豊かな緑に囲まれた環境を生かした教育が高い評価を得ています。

聖学院大学では、地域との連携に力を注いでいます。聖学院大学総合研究所では、包括連携協定を結んでいる地方自治体の職員を対象に、大学院レベルの研究を指導してまいりました。これは各自自治体の首長から非常に高く評価されている取り組みになっています。

す。

企業との連携事業としては、各分野の第一線で活躍されている方たちをお招きして、社会的な課題や金融のことなどを学生に向けて話していただいています。また、企業の社会貢献プログラムに学生の力を借りたいという声に応えながら、学生たちの地域貢献活動を彼らの教育研究にフィードバックすることを考えています。

昨年、聖学院創立120周年を記念して聖学院大学チャペルにパイプオルガンが設置されました。大学礼拝や教育活動に加え、近隣の方々を招いてのコンサート開催等、パイプオルガンを通じて聖学院大学を知っていただく、このようなよい循環を作りたいと考えています。

聖学院はプロテスタント・キリスト教の精神に基づき「神を仰ぎ人に仕う」というスローガンを掲げ、そこに学ぶ一人ひとりを大切にしています。誰にも神様から与えられた賜物があります。その賜物を一人ひとりが実感できる教育を行い、その賜物を、世界や社会、隣人のために喜んで用いる人を育ててまいります。

園児・児童・生徒・学生は人との交わりの中から学びます。学外で触れる価値観や人間の生きる姿も彼らの成長には欠かせません。知的、人的、財的支援等、今後とも皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆様のあたたかいご支援に 心より感謝申し上げます

2023年度 ASF募金総額

812件

3億5,118万4,749円

(2024年3月31日現在)

2023年度、1903年の聖学院神学校創立から120周年を迎え、10月にオール聖学院の教職員が一堂に会して記念式典を挙行了しました。また、多くのご寄付により大学チャペルに完成したパイプオルガンの奉献式と記念音楽会も開催しました。

施設設備については、聖学院小学校体育館の空調設備設置工事、女子聖学院体育館の屋根防水及び外壁塗装工事、聖学院中高のパノラマコート改修工事、大学図書館空調設備更新工事、ICT教育のためのPC・タブレット等の購入、AV機器設備の更新などを実施しました。

2025年に女子聖学院創立120周年、2026年に聖学院中高創立120周年を迎えます。聖学院各校での学びがさらに充実していくよう、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2023年度募金実績報告と寄付者ご芳名については、ASFホームページにてご紹介しています。こちらをご覧ください。



プロジェクト区分	2023年度合計	
	件数	金額(単位:円)
教育および施設設備充実(大学院)	29	345,000
教育および施設設備充実(大学)	225	53,837,590
教育および施設設備充実(聖学院中高)	113	125,066,909
教育および施設設備充実(女子聖中高)	138	114,481,980
教育および施設設備充実(小学校・幼稚園)	115	54,592,270
教育および施設設備充実(みどり幼稚園)	70	553,000
奨学金(大学)	64	272,000
奨学金(聖学院中高)	22	1,390,000
奨学金(女子聖中高)	29	130,000
奨学金(小学校)	7	516,000
合計	812	351,184,749

※各校のプロジェクトにいただいた寄付は該当校の事業に用いさせていただきます。

2023年度 実施事業の一部をご紹介します

教育および施設設備充実

- 聖学院大学 パイプオルガン建造工事/図書館空調更新工事/図書館棟キュービクル交換/体育館床修繕 ほか
- 聖学院中高 高校新クラス(GIC)機器整備/屋上パノラマコート修繕工事/防犯カメラ更新工事
- 女子聖学院中高 体育館屋根防水及び外壁塗装工事/サーバー室空調更新工事/チャペルプロジェクター更新工事
- 聖学院小学校 体育館空調設備設置工事
- 聖学院みどり幼稚園 園舎外装東面修繕/プレイルーム床修繕/外柵・門扉一部改修

奨学金

- 聖学院中高/女子聖学院中高 奨学金として、計20件支給

将来に備えての積立

- ・聖学院中高体育館のため
- ・女子聖学院中高体育館のため

Topics

1

聖学院大学チャペルに パイプオルガンが完成しました

聖学院創立120周年・ディサイプルス派日本伝道140周年の記念の年、皆様からのご寄付により女子聖学院短期大学時代からの悲願であるパイプオルガンが完成しました。縦約7m・横約8.5mの堂々たる姿で美しい音色を誇るこのオルガンは、これから礼拝や学生の教育、地域への文化貢献のために用いられます。



パイプオルガンの仕様
詳細についてはこちら
をご覧ください



建造の様様を動画で紹介
しています(聖学院キ
リスト教センターHP)

2

ご寄付により 聖学院小学校体育館に空調設備が設置されました



卒業生として児童たちへのメッセージをいただきました



佐藤慎校長から感謝状を
お渡ししました



設置された空調設備

聖学院小学校の校舎は2015年に新築されましたが、体育館は1979年竣工以来の設備を使用しています。授業や課外活動で使う体育館ですが、空調がないために、冬の寒さはもちろん夏の厳しい暑さへの対応が必要となっていました。そのような現状を知った聖学院小学校卒業生の毛利栄希様(株式会社森清化工代表取締役社長)が、空調設備工事一式の寄付を申し出てくださいました。2023年度工事が完了し、児童たちは安全・快適に体育館を利用することができるようになりました。2024年3月8日(金)に、小学校での感謝の会を朝の礼拝後に行い、学校法人聖学院、聖学院小学校PTA、聖学院小学校から感謝状をお贈りしました。

3

女子聖学院短期大学同窓会緑朋会より ご寄付をいただきました

聖学院大学の前身である女子聖学院短期大学は1967年に開設された後、32年の教育活動を経て、1999年にその役目を終えました。その間、約11,500名の卒業生を社会に送り出しています。女子聖学院短大と共に歩み支えてきた同窓会『緑朋会』は、短大が歴史を閉じた後も長い間、活動を続けてきましたが、2018年に会報誌の発行をやめ、同窓会の活動に区切りをつけられました。緑朋会の活動費用の残金3,190,646円をASFに寄付していただきましたのでご報告いたします。

緑朋会よりお知らせ

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。」(ヨハネによる福音書15章5節)

緑朋会に関わらせていただき半世紀が経とうとしています。常に上の聖句のもと、女子聖学院短大の発展を願って活動してきましたが、今後は一卒業生としてオール聖学院のご発展を見守り続けたいと思います。女子聖学院短大の情報、お知らせは、『ASF NEWS』をご覧ください。

寄付金額 **3,190,646円** 教育および施設設備充実(大学)

聖学院各校卒業生の活躍を紹介するnote「The story of Seigakuin」では女子聖学院短大の卒業生の活躍を掲載しています。ぜひご覧ください。

聖学院発祥の地を ついに特定!

★
120周年特別企画
聖学院
発祥の地を探る
プロジェクトチーム
報告



プロジェクトチームによる学習会

聖学院の前身である聖学院神学校が東京・本郷の地に開校したことは多くの資料に残されていますが、その正確な場所はこれまで特定されていませんでした。聖学院創立120周年を機に、聖学院の「はじまりの場所」特定を目的とした調査研究チーム(プロジェクトリーダー:聖学院中高清水広幸副校長)が組織され、本格的な調査が行われました。時間をかけて文献の発掘とフィールドワークを重ねた結果、ついに聖学院発祥の地となる聖学院神学校の仮校舎が置かれた場所を特定しました。

調査の出発点はココ!

『聖学院中学校高等学校百年史』には「ガイ博士は一九〇三(明治三十六)年二月九日から神学校を、本郷基督教会(東大前にあり、ガイが休暇帰米前に改築した教会堂、牧師宮崎八百吉)を仮校舎とし、宣教師館を寄宿舎として開校した」と記されています。ここを出発点として、調査を開始しました。国立国会図書館や東京都公文書館、文京区内の歴史館などの施設を巡り、古地図、古文書、地籍台帳他、様々な文献を読み込みました。文献から得た情報をもとに、聞き取り調査も行いました。断片的な資料の整合性を取り、このたび上記百年史に記された条件を満たす場所を探し当てることができました。



柏林社書店の前で
(左:店主の松下さん、右:プロジェクトリーダー清水先生)

聖学院発祥の地は、現在の住所でいうと「文京区本郷6-25-13」にあたり、現在は「柏林社書店」という古書を扱う書店になっています。本郷通りに面しており、東京大学の正門から北方面へ向かって約200mの位置にあります。1903年(明治36年)時点では「本郷区本郷森川町二番地」という地番名です。



柏林社書店 【店主:松下直史さん】

約120年前、この地から聖学院が始まったことを店主さんにお伝えすると、我々の話を温かく受け止め、聴いてくださいました。

お願い 柏林社書店へのお問い合わせはお控えくださいますようお願いいたします。



発祥の地の記念碑(石碑)を
建てる計画をしています。

記念碑は10月頃に建立予定です。次号にて続報をお伝えする予定です。なお、誌面でお伝えできなかった詳細な調査報告については、ウェブにて展開しています。



まだまだあります!

Seig NEWS

学生も生徒も教員も職員も
次のステップへと
日々新しい試みをしています。

聖学院大学



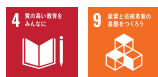
キャンパスの外に出よう! チームで課題解決に取り組む インターンシップPBL型授業 —大宮アルディージャとの地域・産学連携

聖学院大学では、地元プロサッカークラブ・大宮アルディージャとの課題解決型の地域・産学連携授業を行っています。全学科共通のキャリア教育科目「インターンシップPBL型(課題解決型)」において、大宮アルディージャが活動する中で実際に抱えている課題を提供してもらい、その解決策を提案。7月の試合日に学生提案の解決策を実践します。どのような職種にも必要とされる汎用性スキル(コミュニケーション力、課題解決力等)、受益者意識の醸成、課題提供企業の業界の仕組み等を学んでいます。



大宮アルディージャとの地域・産学連携授業の詳細な内容は、聖学院大学のウェブで紹介しています。二次元コードからアクセスください。

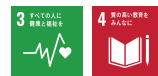
聖学院中学校・高等学校



文部科学省の 高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール)に 採択されました

聖学院中高は令和6年度のDXハイスクールに採択されました。この推進事業は、情報や数学等の教育を重視し、ICTを活用した文理横断的な学びを強化する学校の取り組みを支援するもので、聖学院中高の「デジタルを活用したものづくり教育」、「探究的な学びとそれを支えるICT教育」やSTEAM教育が高く評価されました。

聖学院大学総合研究所



人間福祉スーパービジョン研究2 『ソーシャルワーク・スーパービジョンの可能性』が 発行されました

昨年12月にご逝去された本総合研究所名誉教授/人間福祉スーパービジョンセンター顧問の柏木昭先生と、大学副学長/大学心理福祉学部・大学院心理福祉学研究科教授の田村綾子先生の共著による書籍が、2024年4月に発行されました。

同書は、ソーシャルワーク・スーパービジョンの重要性を説き、精神保健福祉士の研修の場で実践してこられた柏木昭、田村綾子両先生から、スーパービジョンを成立させる「ここで、今」のかかわりについて深く学べる一冊です。



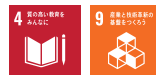
書籍の詳細な内容は、聖学院大学出版会のウェブで紹介しています。二次元コードからアクセスください。





男女合同の中高生SDGsプロジェクト 「環境エコプロジェクト2024」キックオフ！！

6月4日(火)「環境エコプロジェクト2024」(GX・SX教育ユニット 旧ESD・SDGs教育ユニットが主催する中高生SDGsプロジェクト)のキックオフイベントが開催されました。今年4年目となるプロジェクトに参加を立候補した約70名の男女生徒が聖学院中高のフューチャーセンターに集まりオリエンテーション、チーム座談会などを行いました。今年度は菜園・コンポスト、フードロス、エネルギー、資源活用の4つのチームで活動を行います。



マイ・コンパスプロジェクト 中学1年生iPad授与式

5月8日(水)、iPad授与式が行われ、中1生徒全員にiPadが配られました。デジタルシティズンシップ教育を掲げる女子聖学院中高は、デジタルのリスクを理解しながらも積極的にデジタルを活用する、「デジタルの善き使い手」となることを目指しています。クローソンホールにて先生からiPad使用に関する注意事項や説明を聞きながら、各自で様々な設定を行いました。授業終了前に先生から宿題が配信され、配付当日から早速iPadの利用がスタートしています。



学校におとまり 「1年生なかよしキャンプ」

1年生初めての宿泊行事「なかよしキャンプ」が5月24日(金)から泊2日で行われました。友だちとの絆を深めるだけでなく、災害時を想定して「学校に泊まる」という経験も今回の大切な目的です。飛鳥山公園への遠足やゲームと、プログラムを楽しむうちに瞬間に日暮れの時間となりました。学校の中での夕食の時間は、子どもたちに宿泊行事という実感を湧かせます。夜の校舎見学、早朝の聖学院中高ランニングロードの散歩、先生たちが用意した朝食など、盛りだくさんの2日間でした。



聖学院みどり幼稚園



幼稚園ホームカミングデイ 『つくしの会』

4月27日(土)、『つくしの会』が行われ、今年も多くの卒園生との再会を楽しみました。卒園したばかりの1年生も、久しぶりの中学生も、その保護者の方々も、みどり幼稚園に一歩足を踏み入ると、あの時の穏やかな懐かしい気持ちになるそうです。幼稚園が卒園生やその保護者にとって、“昔居た場所”ではなく、“今もつながれる場所”であってほしいと、教職員は願っています。

※毎年、海の日(今年は7月15日(月))は、高校生以上を対象にした「同窓会」が行われま
す。ぜひお越しください!



聖学院幼稚園



春の遠足

5月24日(金)、親子遠足で新宿御苑に出かけました。暑さもある中、心地良い風が吹く広場で、保護者の方々が2列に並んでつくるトンネルを子どもたちがぐくぐったり、親子で歌いながら踊ったりと、楽しく過ごすことができました。お弁当やおやつを木陰で食べる親子には笑顔があふれていました。綺麗に咲くバラの花壇を見に散歩へ出かけたり、芝生の上をゴロゴロしたり。いつもと違う空の下、緑の自然を満喫した一日となりました。



大学からのお知らせ /

2024年度 聖学院大学人文学部子ども教育学科 出張講義のご案内

子ども教育学科は、児童学を基盤とし、保育士資格と幼稚園・小学校・特別支援学校の教職課程を備える学科です。どの教員も“子ども”に関する様々な専門領域における教育・研究を行ってきています。その知見を基に、ご希望くださる学校(小・中・高・特別支援学校および保護者の皆様)へ出張講義(無料)にまいります。右記二次元コードより詳細をご覧ください。

●領域：心理学、音楽教育、異文化間教育、教育学、美術教育、図画工作・美術教育、児童文学、算数教育、防災教育、キャリア形成、生活科教育と遊び、学校教育、保育、児童学、特別支援教育、教育方法、総合的な学習、特別活動、英語教育 など



講義タイトルや詳細
はHPをご覧ください

Special News 「稲永 修さんを偲ぶ会」を開催しました

1988年のASF（オール聖学院フェロースHIP）発足当時より推進委員として聖学院を支えてくださった、稲永 修ASF名誉推進委員長が、2023年11月20日に87歳で逝去されました。稲永さんは聖学院中学校・高等学校の卒業生で、日本大学工学部卒業後、株式会社トーエルを設立され、代表取締役社長、代表取締役会長、代表取締役名誉会長を務められました。聖学院では、聖学院中学校・高等学校同窓会の役員として活動されるとともに、学校法人聖学院評議員、ASF推進委員長などを歴任、2012年から逝去されるまでASF名誉推進委員長として、ASF募金活動を推進していただきました。

2024年3月20日（水・祝）、上野精養軒にて、聖学院中高、聖学院中高同窓会、学校法人聖学院の共催で「稲永 修さんを偲ぶ会」を開催しました。ご遺族、ご友人とともに稲永さんのお人柄やご功績について語り合い、あらためて感謝をお伝えする時となりました。



偲ぶ会のプログラム



故 稲永 修ASF名誉推進委員長



ご遺族とともに稲永さんの思い出を語り合いました

Special News 聖学院メサイア合唱団が演奏会を開催

3月30日（土）、聖学院中高の講堂にて、「第16回聖学院メサイア合唱団演奏会」が開催されました。演奏会当日は好天に恵まれ、聖学院各校の関係者をはじめたくさんの方々が講堂に集いました。（来場者数約300名）

メサイアは第1部から第3部まで全曲演奏されましたが、休憩を挟んで、約2時間半の演奏が短く感じられるほどの素晴らしい公演でした。

メサイアの演奏の前には、序文MAJORA CANAMUS（マヨラ・カナムス：さあ、大いなることを歌おう）の聖学院中2生徒によるスピーチがありました。

聖学院メサイア合唱団は聖学院各校の卒業生、保護者、教職員を主なメンバーとして構成されており、主としてヘンデル作曲の「メサイア」の演奏会を定期的に行っています。

2005年11月に『聖学院中学校・高等学校創立100周年記念音楽会』で行ったのが初めての公演で、2025年には結成20周年を迎えます。



指揮：長岡 聡季
 独唱：ソプラノ 金持 亜実 アルト：谷地 敏 晶子
 テノール：西山 詩苑 バス：原田 圭
 合唱：聖学院メサイア合唱団
 管弦楽：The Pasanian Hill Baroque Ensemble
 （椎ヶ丘バロック合奏団）
 チェンバロ：佐藤 麻衣子

2024年度学校説明会等日程

今後、実施される聖学院各校の7月以降のオープンキャンパス、学校説明会等の情報を掲載いたしました。

ASF NEWSを読まれて、ご興味・ご関心を持たれた方はぜひご参加ください。

参加には予約が必要な場合がございます。各校のホームページにてご確認ください。

聖学院大学

●オープンキャンパス

7/6 (土) 7/20 (土) 8/3 (土) 8/7 (水)
8/8 (木) 8/17 (土) 9/23 (月・祝)
11/30 (土) 3/22 (土)

●入試個別相談会

11/2 (土)



聖学院大学大学院

●進学相談会 (オンライン、対面)

7/6 (土) 8/7 (水) 8/8 (木) 8/17 (土) 11/2 (土)
11/30 (土) 12/7 (土)

●政治政策学研究科 税法オープンセミナー

10/12 (土)

聖学院中学校・高等学校

●学校説明会

7/27 (土) * 11/13 (水) *

●学校説明会・体験会

7/13 (土) 8/24 (土) 9/14 (土) 10/26 (土)

●高校受験対象学校説明会

9/7 (土) * 10/26 (土) *

●校内見学会

9/21 (土) 10/12 (土) 11/9 (土)

●入試対策説明会

11/30 (土) 12/21 (土) 1/11 (土)

*=オンライン



女子聖学院中学校・高等学校

●学校説明会

7/6 (土) 9/14 (土) 11/16 (土)

●夏の女子聖体験日

7/20 (土)

●1DAY説明会

8/3 (土)

●表現力入試説明会

9/28 (土) 11/30 (土)

●入試問題対策会

10/5 (土) 10/12 (土)

10/19 (土) 11/16 (土)

●入試体験会

12/7 (土)



聖学院小学校

●体験授業

7/13 (土)

●学校見学会

8/24 (土)

●学校説明会

9/6 (金)

●聖学院フェア

9/21 (土)



聖学院幼稚園

●幼稚園説明会

9/7 (土)

●幼稚園見学ウィーク

9/9 (月) ~ 9/13 (金)

●聖学院フェア

9/21 (土)

●運動会

10/5 (土)



聖学院みどり幼稚園

●入園説明会

9/18 (水)

●幼稚園見学会

7/12 (金) 8/21 (水) 9/6 (金) 10/11 (金)



編集後記

今年のASF NEWSはアンケートで読者の皆様から要望の多かった運動部を特集させていただきました。いかがだったでしょうか?ぜひご意見、ご感想をお寄せください。

聖学院各校には今回ご紹介できなかった運動部がまだまだたくさんあります。また、文化部もとても盛んで多くの生徒、学生たちが活躍しています。またいつかASF NEWSでご紹介する機会を作りたいと思っています。

ASF NEWS

賛助広告について

オール聖学院フェロースhip (ASF)とは聖学院と関わりのあるすべての皆様のことを示します。

卒業生、在校生とその保護者、教職員の皆様はもちろん、日頃より聖学院各校の学校運営に様々な形で携わっていただいている企業様、卒業生や保護者が経営される企業様など、すべての皆様が聖学院の仲間(フェロースhip)であると私たちは思っています。

今回も、聖学院フェロースhipとして、多くの企業様より賛助広告へのご協賛をいただいております。次ページ以降で紹介していますので、ぜひご覧ください。

ASF NEWS

賛助広告募集のご案内

ASF NEWSでは、毎号賛助広告を募集しております。企業・団体の皆様には、広告掲載についてご検討いただきますよう、お願い申し上げます。詳しくはASF事務局までお問い合わせください。

●ASF NEWSについて

発行部数 約40,000部 ※発行部数は変動することがあります。

発行予定日 毎年6月中旬～下旬

対象読者 聖学院各校卒業生、在校生保護者、ASF会員、教職員、その他

広告申込先
(お問い合わせ先)

掲載のお申し込みは、発行予定日の2か月前より受け付けいたします。掲載スペースにより料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

学校法人聖学院広報センター ASF事務局

TEL: 03-3917-8530 (平日9:00~17:30)

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 E-mail: pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

パソコンやスマートフォンでも NACK5をお楽しみください!

radiko.jp

埼玉・東京・神奈川・千葉・群馬・栃木・茨城で
無料配信中。月額 350 円（税別）のエリア
フリー聴取サービス「radiko.jp プレミアム」
では、「radiko.jp」に参加している
ラジオ局の番組を全国各地どこに
いても聴くことができます。



<http://radiko.jp/#NACK5>

公式SNS

最新情報を発信しています。
是非チェックしてください!

 @fm_nack5

 FM Nack5 79.5MHz





三省堂書店

BOOKS SANSEIDO



未来に、エールを。

私たちカンコー学生服は
子どもたちを取り巻く
多様な課題と向き合ってきました。


スクールソリューションカンパニーとして
時代が移り変わり、社会や環境が変わろうとも
学生と学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、
一人ひとりが自分らしく、ありのままでいられる
明るく豊かな社会づくりに貢献します。


170年のその先も。
すべては、子どもたちの未来のために。



東京菅公学生服株式会社
東京都中央区東日本橋2-2-5 TEL:03(3864)7000
東京菅公学生服はカンコー学生服グループです。



 (公財)日本中学校体育連盟推薦
(公財)日本中学校体育連盟シンボルマーク付

 (公財)全国高等学校体育連盟協賛
インターハイ協賛

 (公社)全国高等学校文化連盟協賛
All Japan Senior High School Cultural Federation

pure
Hawaiian
WATER

TOELL



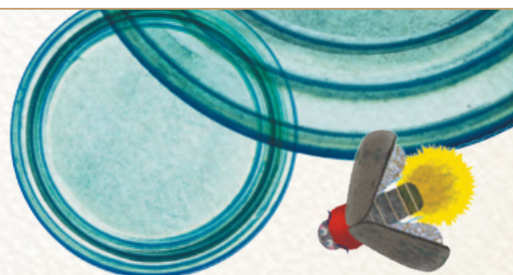
フリーダイヤル



0120-15-7777



受付時間 9:00~19:00 (日曜日 9:00~17:30) 株式会社トーエル 横浜市港北区高田西1-5-21 東証上場 3361



もっとワクワクする
未来へ

WORK WORK

豊かで持続可能な地球を目指して。
戸田建設は、SDGsの実現に
積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

www.toda.co.jp

戸田建設株式会社





すべては、挑戦から。
Everything is from a challenge.

株式会社 森田産業運輸

東京本社 〒123-0872 東京都足立区江北 2-25-10
TEL03-3890-6666 FAX03-3854-3333
埼玉営業所 〒334-0001 埼玉県川口市桜町 1-11-37
TEL048-281-5533 FAX048-281-3444
川口センター 〒334-0062 埼玉県川口市榑松 242
TEL048-282-8889 FAX048-282-8890
五霞営業所 〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗橋 4700-1
TEL0280-23-6602 FAX0280-23-6652
鹿浜 inonobase 〒123-0864 東京都足立区江北 6-15-8
TEL03-3857-0531 FAX03-3897-6209



※ 2023年6月30日 足立区鹿浜に、鹿浜 inonobase 開設

グループ会社

Yasu 株式会社ヤスココーポレーション

Km 株式会社ケイ・エム

東京国際ニュースサービス株式会社



上品、シンプル、
スタイリッシュなデザイン

ポスター／チラシ・DM／ロゴ／web／
UI／パッケージ 他

株式会社 キュー・ジー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-7-26 1104
phone : 03-5341-4179 <https://qgp.co.jp>

庭師の技が冴えるガーデン

<http://www.obazouen.co.jp>



当社に伝わる伝統・技術・技能を社員一人一人が発揮し
よりよい仕事をより安くお客様にお届けいたします

株式会社 大場造園

〒168-0064 東京都杉並区永福2-47-12
TEL 03-3321-8688 FAX 03-3325-5329
ISO9001・2015認証取得

ひとつまみの幸せ。



日常をちょっと特別な日に。



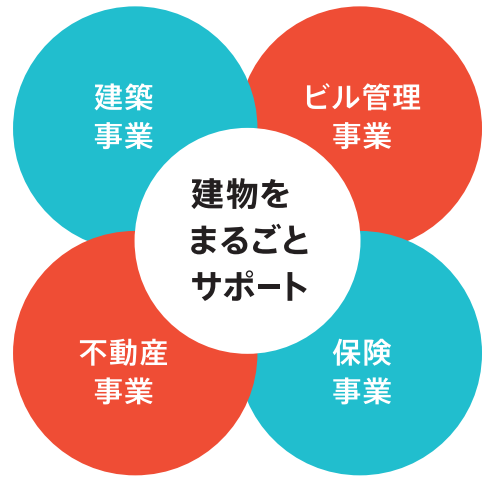
株式会社なとりは、
「東京都北区SDGs推進企業」です。

株式会社なとり

代表取締役
会長兼社長 名取 三郎
東京都北区王子5-5-1



ライフサイクル
マネジメントで、
お客様の
資産価値を
守ります。



戸田ビルパートナーズ株式会社

代表取締役社長 有馬 弘
東京都港区台場2-3-1 トレードピアお台場21階
TEL:03-6628-5021

もっと、ここにいたいをあなたへ



おかげさまで創業60年

「もっと、ここにいたい」をあなたへ

IZU 伊豆商事株式会社

タイル・間仕切・空調設備・住宅設備の専門商社

〒130-0023 東京都墨田区立川3-4-6
e-mail: izu_info@izus.co.jp
Web: http://www.izus.co.jp/

営業所案内

東京営業部 (広域・城東・大塚・調布)
埼玉(草加)・千葉・市原・佐原

聖学院大学教育支援会議 幹事

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
埼玉支社
〒330-6028 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2
fujifilm.com/fb/company/fbj

Coca-Cola

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 <https://www.ccbji.co.jp>
COCA-COLA EAST JAPAN Co., Ltd. (コカ・コーラ販売会社) Coca-Cola is The Refreshing Company の登録商標です。

練習生募集中!!

※キャンペーン中につき、詳細はお電話でお問い合わせください。

プロ・アマチュアボクサー志望、プロライセンス取得、体力作り・健康維持、ダイエット・シェイプアップ、ストレス・運動不足解消…あなたの目的にあったトレーニングができます!

女性ひとりでも安心☆ 気軽にエクササイズ♪



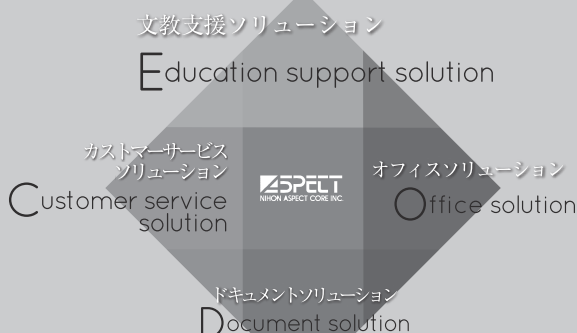
聖学院を応援しています

金子ジムの金子兄弟は聖学院中学高等学校の卒業生
 会長の健太郎(右)は73回生、マネージャーの賢司(左)は76回生
 中央は元世界スーパーフライ級チャンピオン清水智信(現福井県議会議員)

金子ボクシングジム
 KANEKO PROMOTION CO.,LTD. KANEKO BOXING GYM

住所/東京都世田谷区北沢1-45-23
 電話/03-3460-8353

アウトソーシングで、叶える



NEXT ▶ OUTSOURCING

ASPECT 日本アスペクトコア株式会社
NIHON ASPECT CORE INC.

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3
 日本ビルディング九段別館6階
 TEL:03-5212-7651 FAX:03-5212-7650



通信コスト削減、業界初の
 回線管理業務コンサルティングシステム

「回線秘書」

特許第4868263号

豊富な経験と実績、高い技術力で
 トータルにサポート

ナースコール 電話設備 ネットワーク
 監視カメラ 施工 保守 コンサルテーション



情報と通信の
電通工業株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井5-11-2
 TEL. 03-5479-3711 (大代表)
<http://www.dentsu.ne.jp/>

情シスの『困った』を まるっと解決!

PC-LCM サービス

PC-ライフサイクル マネジメント サービス
アウトソーシングメニュー

まるっと
お任せください!

調達・設定
デバイスレンタル キッキング リプレイス支援

運用・管理
ヘルプデスク 保管・配送 資産管理 Microsoft 365

ITAD (回収・データ消去・適正処理)
回収 データ消去 リユース・リサイクル



お困りごとは ぜひお気軽にご相談ください

株式会社パシフィックネット

(東証スタンダード上場 証券コード: 3021)

本社: 東京都港区芝 5-34-7 田町センタービル 6階

☎ 03-5730-1441 営業時間 9:00~17:45 (土日除く)



パシフィックネット

<https://www.prins.co.jp>



私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、
お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまい
ります。
そして、お客様が働き、学び、集い、住まう建物の
身近にあって、最良のパートナーであり続ける事
を目指します。

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ

野村不動産パートナーズ

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

新宿野村ビル8階

教育施設事業一部 TEL 03(3345)0672

<http://www.nomura-pt.co.jp>

教育備品総合商社

ヤマ産業株式会社

学びの場づくりの一翼をになって、
教育現場からのきびしい要求にお応えします。

- スチール・木製家具
- 各種特別教室
- 黒板・スクリーン
- 学校用品

- 室内装飾
- 図書館設備
- 視聴覚設備
- OA事務機器



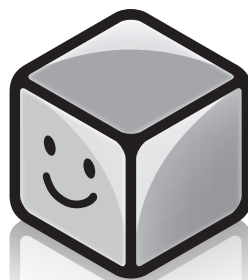
〒112-0015

東京都文京区目白台3-26-8

TEL: 03(3941)7258

FAX: 03(3943)3826

皆さまに笑顔と豊かさをお届けする
“グッドスマイルメディア”
を目指して



つくる、
つなぐ、
かなえる

Good Smile Media

総合印刷・マルチメディア・オンデマンド印刷・広告代理業

望月印刷株式会社

望月印刷 検索

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-195-1 大宮ソラミチKOZ 11F
TEL 048-741-9300

オフィスの悩み解決します!! オフィス見学、随時受付中

石山商工株式会社

〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18 ソシオ熊谷情報センタービル6階
TEL 048-524-5581 FAX 048-524-0102
<https://www.ishiyama-s.co.jp/>

「温かくおいしく安全な給食を」

株式会社アイコーメディカル

〒485-0803 愛知県小牧市高根1-200 TEL 0120-332-354(フリーダイヤル)
<https://www.aiko-medical.co.jp>

廃棄物を生かすカー白井グループ

白井エコセンター株式会社

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目10番14号 ばんだいビル3階
TEL 03-3897-1327 FAX 03-3857-0237
<https://www.shirai-g.co.jp>

株式会社伊藤園

〒337-0008 埼玉県さいたま市見沼区春岡3-20-4
TEL 048-687-8661 FAX 048-682-3722
<https://www.itoen.co.jp/>

日勝スポーツ工業株式会社

〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-36-9
TEL 03-6805-2106 FAX 03-3410-7314
<http://www.nissho-sports.com/>

人と向き合い 自然に寄り添う

株式会社 西尾産業

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町289
TEL 045-531-2403 FAX 045-531-2405
<https://nishio-w.co.jp/>

株式会社NON

〒114-0002 東京都北区王子2-22-76F
TEL 03-6903-3040 FAX 03-6903-3041
<https://www.non-co.com/>

有限会社日東クリーンベスト

〒114-0002 東京都北区王子5-23-16-101
TEL 03-5390-2310 FAX 03-5390-2309

Protection Technology Service

株式会社プロテックス

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー15F
TEL 03-5464-5281 FAX 03-6450-6280
E-mail shibuya@protecs-kk.jp

室内装飾

株式会社 フタバ アイディ

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1丁目22番5号
TEL 03-3809-5505 FAX 03-3893-9530

司法書士増山雄事務所

〒114-0003 東京都北区豊島1-18-8
TEL 03-3919-4980 FAX 03-3919-3305

株式会社防災整美

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-5岩清日本橋ビル7F
TEL 03-5695-1781 FAX 03-5695-1785

明日の教育広報を創る

株式会社 梁プランニング

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 二宮ビル3F・5F
TEL 03-3350-2051 FAX 03-3350-2050
<https://www.ryo-net.co.jp/>

聖学院小学校 女子聖学院 制服指定店

株式会社ヨシザワ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-15 八重洲通ビルヂング 9F
TEL 03-3271-4996 FAX 03-3281-8331
<http://www.yoshizawa-uni.co.jp>

発行 2024年6月25日(年1回発行)
通巻 62号
発行所 学校法人聖学院広報センター 〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 TEL:03-3917-8530
デザイン 株式会社QG
印刷所 株式会社技秀堂

漆・華・音

伝統も独創も、とどまることなく未来へ。



製造元

柳澤管楽器株式会社
<https://www.yanagisawasax.co.jp/>

聖学院歴史探訪

#25 聖学院教育の歴史

- 聖学院の創設と発展
女子聖学院 5 -



1955年頃の校舎全景

1960年に、女子聖学院は、創立50周年記念事業として隣接地を購入し、小学校を開校します。この頃より、高等教育機関を設けたいという希望が高まり、1964年には、大学設置準備会議が設置されました。

準備会議では、建学の精神に基づき、薬科大学や看護師を養成する短大なども検討されたようですが、これからの日本の教育的使命として、国際社会で活躍する国際人の養成が重要であると考え、1967年に、女子聖学院短期大学を英文科一学科でスタートさせることになりました。1968年には、アメリカ・バージニア州にあるリンチバーグ大学と提携をむすび、他の学校に先がけて交換留学をはじめました。またこの年には、国文科を増設しました。

一方で、幼稚園から大学までの一貫教育として、聖学院中学校・高等学校から、また女子聖学院中学校・高等学校からも4年制大学を設置するように要望ができました。そこで、日本が政治的に、経済的に国際化していく状況に対応する人材を育成することをめざして、1988年、聖学院大学が開校されました。このことにより幼稚園から大学までの一貫教育が可能になったのです。また1996年には大学院が設立されました。

出典：聖学院キリスト教センター編『聖学院の精神と歴史』聖学院ゼネラル・サービス、2006年版（出典より一部変更）



学校法人 聖学院

理事長／小池 茂子 院長／山口 博
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-8351
ホームページ <https://www.seig.ac.jp/> E-mail pr_h@seigakuin-univ.ac.jp

■さいたま上尾キャンパス

聖学院大学

・政治経済学部／政治経済学科
・人文学部／欧米文化学科 日本文化学科 子ども教育学科
・心理福祉学部／心理福祉学科
学長／小池 茂子 創立／1988年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-781-0925

聖学院大学大学院

政治政策学研究科／文化総合学研究科／心理福祉学研究科
創立／1996年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-780-1801

聖学院みどり幼稚園

園長／赤田 直樹 創立／1978年
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820 Tel 048-622-3864

■駒込キャンパス

聖学院 中学校 高等学校

校長／伊藤 大輔 創立／1906年
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1 Tel 03-3917-1121

女子聖学院 中学校 高等学校

校長／安藤 守 創立／1905年
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-2277

聖学院小学校

校長／佐藤 慎 創立／1960年
〒114-8574 東京都北区中里3-13-1 Tel 03-3917-1555

聖学院幼稚園

園長／田村 一秋 創立／1912年
〒114-8574 東京都北区中里3-13-2 Tel 03-3917-2725

●インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード（JCB、VISA、MasterCard、アメリカン・エキスプレス、ダイナースクラブ）での寄付が可能です。下記URL、二次元コードにアクセスください。

<https://www.seig.ac.jp/asf/>



住所変更・広報誌の発送停止・PDF配信への変更・お問い合わせ

<https://www.seig.ac.jp/asf/contact/>

学校法人聖学院ASF事務局

Tel 03-3917-8530（月～金 9:00～17:30）

